

おお大勝利

令和2年度 山東サッカー一部報第4号 (7月17日)

サッカー一部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

コロナ禍に負けず保護者激励会・歓迎会挙行

7月4日(土)保護者会総会・新入部員歓迎会・代替試合/受験激励会が山形グランドホテルで行われました。今年は例年と大きく異なり、コロナ感染対策を施し、万全にも万全を期して実施しなければならず、小屋保護者会長はじめ保護者会の方々は、総会のみ実施して他をキャンセルする案も考慮に入れたことでしょう。しかし、**小屋会長が会場側と丁寧に打ち合わせを重ね、大きい部屋を複数おさえソーシャルディスタンスを確保し、また、マイクへの消毒を毎回行うなどの感染対策を行えば、何とか実施できそうだとの見通しが出てきました**ので、実施の運びとなりました。

総会を手短かに終えた後、すぐ部員を迎えて激励会・歓迎会を実施。それが終わると、部員は別室に移り、食事タイム。そこで、**久世新顧問**や、**高橋コーイチ**、**後藤報道局長**らの激励を頂戴してから、「頂きます」。保護者は元の部屋に戻り、保護者は「乾杯」。大きな会合がない時期だからこそできた会場の「広々使用」ではありましたが、**感染対策と激励・歓迎・懇親を両立させた保護者会の皆様の大英断だった**と思います。また、選手の言葉にも感銘を受けました。個代替大会に参加せず引退した**3年生のハク**の「(サッカーを)引退したのは、それが一番(受験の)言い訳ができないと思ったから」というコメントには、「さすがハク」と唸りました。ただし、残留した3年生諸君、ハクが言うように一番言い訳ができないだけであって、残留を(不勉強の、不合格の)言い訳にはしてはいけません。また、とある1年生の決意の言葉の出だし「タンノ〇〇〇〇こと『こんにゃく』です」には、衝撃を受けました。それを言うなら、「こんにゃくこと、タンノです」だろう！ そうなんです、サッカー関係者の皆様、今年**こんにゃく**というあだ名がついた部員入りました(実家でこんにゃく屋を営んでいるわけではない)。こんにゃくがどんなプレーをするか、乞うご期待！

上にありますように、引退した3年生も受験の決意表明をしに来てくれたし、その保護者の方にもお会いできて、良い区切りになりました。保護者の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。

地区サッカー大会 初戦山本学園戦 引き分け

7月11日(土)県総合運動公園第二運動広場(人工芝)にて、プレ代替試合になる地

区サッカー大会の山本学園戦が行われました。山東では、7月の地区サッカー大会・代替大会を3年生主体で臨む、と決めていたが、3年生8名が引退し、8名が残ったので、その8名を全員先発させ、他を2年生2名、1年生1名で埋め、11人を構成。**引退した8名の中には1年生の時から公式戦に出場し続けた選手がいるし、出場する8名の中には公式戦初先発もいる。**とにかく、3年生の「お祭り」という位置づけ。とはいえ、応援してくれる方々のためにも、また、サッカー選手としての自分のためにも、もちろん勝ちたい。良い内容で勝てたら尚よし。試合前から、**モリヤとヒラマサの「暴走ツートップ」**の働きが試合を決めると思っておりました・・・。

会場には、シーズン開幕を待ちに待った、**清野総監督（後援会名誉会長）、後藤報道局長**が当然のようにお見えになる。観戦者はネット内に入らないで観戦という今回の第2運動広場ローカルルールだったので、近くで拝見できず、また試合後も挨拶できなかったのですが、遠巻きには**奥山後援会前副会長**と（清野総監督と同期の）**工藤先輩**の姿が確認できました。来場してたか確認できなかったのですが、**卒業1年目のマネージャーアヤ**も来ていたとの情報もある。多くの人に見守られ、さあキックオフ。

試合が始まると、シンプルに山東の攻勢。中盤でボールを奪いきれず、ボールが落ち着かないまま自陣内で時間を過ごす悪い立ち上がりのは、基本的に山東の攻撃が続く。やはり、**CB コウダイ、右 SB ミノル、左 SB ユッキー**の3年生最終ラインの安定が大きい。コウダイは昨シーズンDFで出場し続け、冬の間はFWとして経験を積み、今期FWで大暴れする予定でしたが、CBを務めることができる選手がいなくなったため、昨シーズン通りCB。また、もう一人のCBは、本職GKの座を**3年のカザマ**に任せ、FPで出場する**2年コーセー**。まだまだ経験不足のところはあるが、FPでの可能性もある。GKを務めているだけに、リーダーシップとプレスキック、ボレーのうまさがある。**3年ショーとルーキーのグッチ**のダブルボランチは安定感を欠くものの、徐々には試合を落ち着かせる。**この一年で最も伸びた左 SH3年ナカノ**がチャンスを作り、FW二人に良いボールを供給。FW二人も鋭い飛び出しで、何度も抜け出しますが、**前半「あとは決めるだけ」**の状況で**ことごとく逸機。そうなんです、この2FW、スピードとパワーはあるものの、正確性というものがまるでない。**近年山東には、こういう極端な選手が多い。4、5点逃して、前半終了。

後半は、相手の俊足の選手に逆襲で抜け出され、GKが倒してしまい、PKを与える。それを決められ、**0対1**。こちらが決めて試合を決定づけないと、こうなるものです。「こりゃ負けたな」と思いましたが、まずは予定通り、コウダイをFWに上げて勝負に出ると・・・**1年グッチの右からの冷静なセンターリングをヒラマサが確実にヘディングシュート、それを弾いてこぼれたのを昂大がヘディングで詰めて、同点。**喜び、チームメイトに「もっと行くぞ」と叫ぶコウダイ。その後、逆転の展開もあり得ましたが、確実性に欠けるチームが少ない時間で結果を残せるわけがない。**結局、1対1の引き分け。**

「前半もっと決めてればな～」という試合でしたが、トーナメントではないので次がある。次に、スカッとした得点シーン、期待しましょう。応援ありがとうございました。また、ネット外からの応援になりますが、宜しくお願い致します。

**7月18日（土） 村山地区サッカー大会第2節 山東B VS 山商B 10:00～@山商G
山東 VS 城北 13:00～ @県第二**